

令和5年第2回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日 時	令和5年4月13日（木） 11時00分～11時50分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、加地委員、後藤委員、佐藤委員、高田委員、高橋委員、中村委員、新野委員
欠席委員	
事務局	伊藤教育長、坂口教育部長、西舘教育部次長、山崎生涯学習課長、伏見図書館長、佐藤生涯学習課主査

### <議事報告>

#### 【日程1】

#### 報告第1号 令和5年第1回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 小1プロブレム、中1ギャップについて、室蘭で何か具体的な問題が起きたのか。スキー場に関して、支援をしていくという表現があったが、具体的に何か支援策はあるのか。

男女平等参画センターの施設名について、「胆振地方」という名称は、広く親しんできているので、このままで良いのではないかと思う。

（事務局） 小1プロブレム、中1ギャップについて、特別何か問題が起きたというよりも、先進地での取り組みを室蘭市でも導入したら良いのではという趣旨の質問となっている。

スキー場の支援策について、これから多方面に聞き取りを行い、どのようにしたら良いのかを内部で検討している段階である。

（B委員） 部活動について、市内の小中学校に茶道クラブが少ないように感じる。新たに検討していただくというのは可能なのか。

（事務局） 子ども達が、そういったクラブ活動を行いたいという希望があれば、指導者を探すのが、希望者が少ない場合、部活として成り立つのかという議論になる。そこで、複数の学校が集まって行うことが可能なのか、対応できる指導者がいるのかなど、今後、少しお時間をいただいて、検討していきたい。

#### 【日程2】

#### 報告第2号 令和5年度北海道及び胆振管内社会教育委員連絡協議会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答） なし

#### 【日程3】

#### 報告第3号 5月・6月の行事予定について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答） なし

【日程4】

報告第4号 第3次室蘭市男女平等参画基本計画策定に向けた市民アンケート結果報告書（素案）  
について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員）

設問については、以前の社会教育委員の会でも目を通させていただいて、立派なものが出来て、皆さんがどのような回答を寄せられるのか興味を持っていた。

中身が膨大で、思いついたままを述べさせていただくと、多くの方が、働くこと、育児、介護に関心を寄せていると感じた。

このアンケートの中で、「専業主婦」というのをどのように考えたら良いのかというのが出てこない。二人で働くのが男女平等の社会であって、専業主婦であることが肩身が狭いというようにとれなくもない。専業主婦をしていて男女平等についての視点がこのアンケートでは抜けていたのではないかと感じた。

（B委員）

専業主婦に関しては、私も同じように感じていた。子どもが大きくなると、働いていないというのを言いだしづらくなってきたというを感じている。家庭内で役割分担をしているつもりだが、このアンケートの設問を見ると、専業主婦の方に対する扱いについて、A委員と同じ感想を抱いた。

（事務局）

もともと男女平等の考え方の始まりが、男は仕事、女は家庭ということへの不平等の解消を目指すということから始まってしまっているため、どうしても女性も働いて、共働きが出来る社会を目指すということをベースに作ってしまっているというのがあり、今回、アンケートを作成する際に、そこをうまく表現する事が出来なかったという点では次回の作成時にうまく反映させていきたい。

（C委員）

若い世代の方たちは、男女平等参画について、学校でも取り組んだり、ある程度理解した中で社会生活を送っているので、アンケートの質問を見させていただいた中で、若い世代の回答が少なかったというのは、質問の内容も時代を考えたものにするべきだったのではと感じた。

次回開催日 令和5年6月1日（木）